

# 「人文社会科学の知見を活用した行動科学教育は医学生にどのような学修成果を生むのか？」に対するご協力のお願い

研究責任者 春田淳志  
研究機関名 慶應義塾大学医学部  
(所属) 医学教育統轄センター

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、直接の同意取得が困難ない学生に向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、医学生への新たな負担は一切ありません。また医学生のプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

## 1 対象となる方

2025 年 4 月 1 日時点において第 5 学年および第 6 学年に在籍中の慶應義塾大学医学部の学生

## 2 研究課題名

承認番号 20251027

研究課題名「人文社会科学の知見を活用した行動科学教育は医学生にどのような学修成果を生むのか？」

## 3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学医学部

研究責任者

(職位) 教授 (氏名) 春田淳志

## 4 本研究の目的、方法

従来の医学教育においては、知識や技能の習得が中心であり、複雑な人間関係や価値観の多様性に対応する力をどのように育成するかは十分に検討されてきませんでした。そこで、医学生が行動科学教育を通じて多様な他者の視点と出会い、自らの価値観や医療者としての姿勢を再構築していくプロセスを明らかにする研究を実施します。

本研究は、認知行動療法(CBT)や人類学的視点を活用したケーススタディを通じて行われた行動科学Ⅱの授業に参加した慶應義塾大学医学部の医学部 3 年生を対象に、学修成果がどのように形成されたのかを明らかにすることを目的とします。

方法は、行動科学Ⅱで提出された授業後の感想やレポート等を質的に分析するリアリストアプローチという方法を用いて実施します。

5 協力をお願いする内容

行動科学Ⅱで提出された授業後の感想やレポート、事前課題等の分析

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。また本研究の対象となる学生より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部 医学教育統轄センター

住所：東京都新宿区信濃町 35

電話：03-5363-3514（内線：61095、オフィスアワー：9-17 時）

研究責任者・担当者：春田淳志

以上